松田権六の仕事場

関連資料展示

会期 2026.10.9 - 2027.1.11

松田権六の道具

左ケース

1 ：鯨箆（くじらべら）
2 ：中尊寺金色堂の解体修理の時に出てきた平安時代の刷毛を模して作られた刷毛
3 ：檜の皮で作った箆
4 ：上塗り専用の刷毛
5 ：地塗り専用の刷毛
6 ：細く塗るための刷毛
7 ：小刷毛
8 ：あしらい毛棒（けぼう）・・・蒔絵粉を扱うための筆の一種
9 ：鼈甲製の蒔絵筆用の洗い箆
10：大小の針金で作られた「引掻き」用筆
11：ぶんまわし ・・・コンパス
12：犬牙（けんき）・・・柄の先に犬の牙を取り付けた道具
13：鯛牙（たいき）・・・柄の先に鯛の牙を取り付けた道具
14：各種蒔絵筆
15：粉筒（ふんづつ）
16：塗師刀（ぬしがたな）
17：槍鉋（やりかんな）
18：彫刻刀や各種の切出小刀

遺愛の品々

19：フェルト帽
20：腕時計
21：筆記用具
22：眼鏡

粉筆笥の引出

中央ケース（最下段）

23：粉鎮（ふんちん）
・・・蒔絵用の金銀粉を入れた粉包みを押さえるために用いる重し
24：粉匙（ふんさじ）・・・蒔絵用の金銀粉をすくうのに用いる小さじ
25：鳥軸製粉筒
26：爪盤（つめばん）・・・蒔絵を描く際に漆をのせておく小さなパレット
27：あしらい毛棒
28：払い毛棒

蒔絵で使われる素材

右ケース（最下段）

29：夜光貝
30：アワビ
31：メキシコアワビ
32：貝の真珠層部分を薄くはいだもの
33：卵殻（ウズラ）
34：象牙
35：平文用の各種素材

特集展示： 松田権六と制作ー日々の積み重ねー

昭和100年・生誕130周年記念

中央ケース

36：図案
37：図案（牡丹、方盆）
38：松田権六《図案日誌》1977年
39：松田権六《図案日誌》1976年
40：図案（鶴）
41：松田権六の制作のための参考資料
42： 制作途中の棗（鶴文）

右ケース

43： 制作途中の方盆（牡丹文）
44：松田権六《牡丹文蒔絵方盆》1983年
45： 松田権六《鶴平文香盒》1940年
46：松田権六《鶴蒔絵煙草入》1955年頃

国立工芸館
National Crafts Museum